

出願書類を含む資料は、  
テレメール <http://telemailweb.net/web/?400065> から請求してください。

平成23年 4 月入学

岩手大学大学院工学研究科  
博士前期課程  
学生募集要項

一 般 入 試  
推 薦 入 試  
社 会 人 入 試  
外 国 人 留 学 生 入 試

日 程 表

項	日	期	日	
推 薦 入 試	出 願 受 付 期 間	平成22年 6 月21日(月)～ 6 月23日(水)		
	試 験 日	平成22年 7 月 9 日(金)		
	合 格 発 表	平成22年 7 月23日(金)		
一 般 入 試 社 会 人 入 試 外 国 人 留 学 生 入 試	第 1 期	出 願 資 格 事 前 審 査 (該 当 者 の み)	平成22年 7 月12日(月)～ 7 月14日(水)	
		出 願 受 付 期 間	平成22年 8 月17日(火)～ 8 月19日(木)	
		試 験 日	平成22年 8 月31日(火)～ 9 月 1 日(水)	
		合 格 発 表	平成22年 9 月13日(月)	
	第 2 期	出 願 資 格 事 前 審 査 (該 当 者 の み)	平成22年12月 6 日(月)～12月 8 日(水)	
		出 願 受 付 期 間	平成23年 1 月19日(水)～ 1 月21日(金)	
		試 験 日	平成23年 2 月 1 日(火)～ 2 月 2 日(水)	
		合 格 発 表	平成23年 2 月14日(月)	

※ 本研究科では、一般入試、社会人入試、外国人留学生入試において、第1期及び第2期の計2回学生募集を行います。第1期及び第2期の両方に出願することもできますが、その際はそれぞれ所定の期間に出願書類(検定料を含みます。)を提出する必要があります。

岩 手 大 学

# 目 次

I	工学研究科（博士前期課程）のアドミッション・ポリシー	1
II	入学者選抜方法の区分	1
III	一般入試	
1	募集人員	2
2	出願資格	2
3	出願手続き	3
4	選抜方法	4
5	合格者の発表	7
6	入学手続き等の概要	7
7	長期履修制度	8
8	個人情報の取り扱い	8
IV	推薦入試	
1	募集人員	9
2	出願資格	9
3	出願手続き	9
4	選抜方法	10
5	合格者の発表	11
6	その他	11
V	社会人入試	
1	募集人員	12
2	出願資格	12
3	出願手続き	12
4	選抜方法	14
5	教育方法の特例措置等	15
6	その他	15
VI	外国人留学生入試	
1	募集人員	16
2	出願資格	16
3	出願手続き	16
4	選抜方法	17
5	その他	18
VII	個別の出願資格審査	19
VIII	障がい等を有する入学志願者との事前相談	20
IX	電算処理カードの記入要領及び記入例	22
X	教育研究分野及び授業科目	24

## I 工学研究科（博士前期課程）のアドミッション・ポリシー

岩手大学大学院工学研究科（博士前期課程）は、科学技術分野において、広範な専門基礎学力と未知の課題を積極的に解決できる専門的応用能力を有し、地域社会と国際社会の発展及び自然環境との共生を重視する高度な専門技術者・研究者を育成することを目標にしています。

このような観点から、当大学院では、次のような資質・能力を有する人を求めます。

### 一般入試

1. 研究・開発能力を培うに必要な専門基礎学力を有する人
2. 問題解決に意欲を有し、実行力・具現化能力に優れた人
3. 倫理観を有し、高いモチベーションで日々努力する人

### 社会人入試

1. 研究・開発能力を培うに必要な専門基礎学力を有する人
2. 社会人の経験を通して、柔軟で幅広い知識と倫理性を兼ね備えた人
3. 問題解決に高いモチベーションで日々努力する人

### 外国人留学生入試

1. 研究・開発能力を培うに必要な専門基礎学力を有する人
2. 問題解決に意欲を有し、実行力・具現化能力に優れた人
3. 日本文化を理解し、倫理観と高いモチベーションを備えた技術者・研究者として国際的に活躍できる人

### 入試における評価方法

上記3つの項目に対し、次の項目で評価します。

- ・ 学力検査
- ・ 面接による質疑応答（卒業研究等での活動状況、研究理念、社会・自然環境への配慮等）及び書類審査

## II 入学者選抜方法の区分

入学者の選抜は、「一般入試」のほか、「推薦入試」、「社会人入試」及び「外国人留学生入試」の方法により行います。

ただし、本研究科では、一般入試、社会人入試、外国人留学生入試において、第1期及び第2期の計2回学生募集を行います。第1期及び第2期の両方に出願することもできますが、その際はそれぞれ所定の期間に出願書類（検定料を含みます。）を提出する必要があります。

### 1 推薦入試

人物・学力ともに優れ、出身大学の学長（学部長）又は出身学校長が責任をもって推薦する者に対して、一般入試とは異なった方法で入学者の選抜を行うものです。

### 2 社会人入試

社会的要請に応じて、各種の研究機関、教育機関及び企業等で活躍している現職の社会人に対してリフレッシュ教育の場を提供できるよう、専攻によっては、一般入試とは異なった方法で入学者の選抜を行うものです。

### 3 外国人留学生入試

外国人を対象とし、専攻によっては、一般入試とは異なった方法で入学者の選抜を行うものです。

### Ⅲ 一般入試

#### 1 募集人員

専攻	募集人員	
	第1期	第2期
応用化学・生命工学専攻	19名	若干名
フロンティア材料機能工学専攻	20名	
電気電子・情報システム工学専攻	34名	
機械システム工学専攻	15名	
社会環境工学専攻	10名	
デザイン・メディア工学専攻	若干名	10名
金型・鋳造工学専攻	6名	若干名
計	114名	

#### 2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第83条第1項に定める大学を卒業した者及び平成23年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により、独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成23年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成23年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成23年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成23年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成23年3月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号（大学院及び大学の専攻科の入学に関し大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定））
- (8) 以下の基準のいずれかを満たし、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
  - ① 学校教育法第83条第1項に定める大学に3年以上在学した者
  - ② 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
  - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
  - ④ 我が国において外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成23年3月31日までに22歳に達するもの  
注) (8), (9)で出願しようとする者は、「Ⅶ 個別の出願資格審査」を参照してください。

### 3 出願手続き

#### (1) 出願方法

志願者は、次の出願書類等を取りそろえ、郵送又は持参により提出してください。

なお、郵送する場合は、必ず速達書留とし、封筒の表に「大学院工学研究科博士前期課程一般入試出願書類等在中」と朱書きしてください。

#### (2) 出願書類等提出先

岩手大学学務部入試課

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8 ☎019-621-6064

#### (3) 出願受付期間

第1期募集 平成22年8月17日（火）から8月19日（木）まで【必着】

第2期募集 平成23年1月19日（水）から1月21日（金）まで【必着】

持参の場合、受付時間は9時から16時までです。

#### (4) 出願書類等

入学志願票，履歴書	所定の用紙に必要事項を記入してください。
電算処理カード	22ページ以降の記入要領及び記入例をよく読み、志願者本人が記入してください。電算処理されますので、汚したり折り曲げたりしないでください。
写真票・受験票・入学検定料（振替払込受付証明書）	写真票には、写真（縦4cm×横3cm）をはってください。 太線枠内に、志願者本人が記入してください。 検定料30,000円（別途振込手数料がかかります。）を同封している所定の「払込取扱票」を使用し、必ず郵便局の窓口で払い込んでください。（郵便振替自動受付機やATMは利用しないでください。） 払込後、受け取った「振替払込受付証明書（お客さま用）」の日附印欄の押印を確認のうえ、所定の欄にはってください。 検定料は、出願書類受理後はいかなる理由があっても返還しません。 日本国政府から奨学金が支給されている外国人留学生は、検定料を徴収しませんので、「国費外国人留学生証明書」を添付してください。
成績証明書	出身大学の学長（学部長）又は出身学校長が作成し、厳封したもの ただし、出身学校の証明書自動発行機で発行されるものは厳封の必要はありません。 なお、出願資格(2)で出願する者は、高等専門学校等の成績証明書も提出してください。 外国語（英語は除く）で書かれた証明書には日本語訳又は英語訳を添付してください。
卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書	出身大学（出身学校）所定のもの 外国語（英語は除く）で書かれた証明書には日本語訳又は英語訳を添付してください。
学士の学位授与（申請）証明書	出願資格(2)で出願する者は次のいずれかを提出してください。 ① 学位授与証明書 ② 学位授与申請受理証明書又は「大学評価・学位授与機構に学位授与の申請（予定）をしている。」旨が明記されている証明書（様式任意）で、出身大学等の学長（学部長）又は出身学校長が作成したもの
受験許可書	就職している者は、就職先の長又は代表者が署名捺印したものを提出してください。 他の大学院に在学している者及び出願資格(8)の資格で出願する者のうち他の大学に在学している者は、出身学校長が作成したものを提出してください。（様式任意）
外国人登録証明書	外国人志願者は、外国人登録証明書又は外国人登録原票記載事項証明書を提出してください。
受験票送付用封筒	所定の封筒にあて先を記入し、350円切手（速達料金）をはってください。
ラベル票	所定のラベル票用紙に必要事項を記入してください。
その他の書類	出願資格審査で認定を受けた者は、認定書の写しを提出してください。

(5) 出願書類等提出上の注意

- ① 出願書類等受理後は、いかなる理由があっても志望専攻等の記載事項の変更を認めません。
- ② 出願書類等に不備のあるものは受理しませんので、記載事項に記入もれ、誤記入等のないよう十分注意してください。
- ③ 受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 出願後、現住所等に変更があった場合は、速やかに連絡してください。
- ⑤ 出願書類等に虚偽があった場合は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

4 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査（筆記試験）、面接及び書類審査の結果を総合して判定します。

なお、判定は全ての学力検査及び面接を受験した者に対して行います。

(1) 試験実施科目等

専攻	筆記試験				面接	
	基礎科目	専門科目	外国語	小論文		
応用化学・生命工学専攻 (注1)	A試験	数学(微分積分, 微分方程式, 線形代数)	有機化学, 無機化学, 物理化学, 化学工学, 分析化学, 高分子化学	英語	全員に課す	
	B試験	数学(微分積分, 微分方程式, 線形代数)	生体工学, 電気電子工学, 材料工学			
フロンティア材料機能工学専攻 (注2)	化学系	数学(微分積分, 微分方程式, 線形代数)	有機化学, 無機化学, 物理化学, 化学工学, 分析化学, 高分子化学	英語		
	マテリアル系	数学(微分方程式, ベクトル解析)	物性基礎(量子物理学, 熱統計物理学), 電磁気学, 材料組織学(材料組織学, 金属材料構造学), 材料物理化学(材料物理化学, 電気化学), 材料加工学(鑄造材料学, 接合工学) 5問題中3問題選択			
	電気系		電磁気学, 電気・電子回路論			
	環境系	数学(微分積分, 微分方程式, 線形代数)	水理学, 構造力学, 土質力学			
電気電子・情報システム工学専攻 (注1)	A試験	総合科目 次の2分野から1分野を選択(注3) 電気電子工学(電磁気学, 電気・電子回路論) 情報システム工学(フーリエ解析・ラプラス変換, 線形代数, 離散数学, 確率統計学, 計算機アルゴリズム, 論理回路, 計算機システム 7問題中4問題選択)		英語		課す (注4)
	B試験	数学(微分積分, 微分方程式, 線形代数)	生体工学, 電気電子工学, 材料工学	英語		
機械システム工学専攻 (注1)	A試験	数学(微分方程式, ベクトル解析, フーリエ解析, 複素解析 4問題中2問題選択)	材料力学, 機械力学, 水力学, 熱力学	英語		全員に課す
	B試験	数学(微分積分, 微分方程式, 線形代数)	生体工学, 電気電子工学, 材料工学	英語		
社会環境工学専攻 (注1)	A試験	数学(微分積分, 微分方程式, 線形代数)	水理学, 構造力学, 土質力学	英語	全員に課す	
	B試験	数学(微分積分, 微分方程式, 線形代数)	生体工学, 電気電子工学, 材料工学	英語		

デザイン・ メディア 工学専攻	総合科目 筆記試験に代えて、プレゼンテーション試験を課す。 (注5)		課す (注6)		課さない	
金型・鋳造 工学専攻	金型 コース	数学(微分方程式, ベクトル解析, フーリエ解析, 複素解析 4問題中2問題選択)	材料力学, 機械力学, 水力学, 熱力学	英語	全員に 課す	全員に 課す
	鋳造 コース	数学(微分方程式, ベクトル解析)	物性基礎(量子物理学, 熱統計物理学), 電磁気学, 材料組織学(材料組織学, 金属材料構造学), 材料物理化学(材料物理化学, 電気化学), 材料加工学(鋳造材料学, 接合工学) 5問題中3問題選択			

注1) 応用化学・生命工学専攻, 電気電子・情報システム工学専攻, 機械システム工学専攻及び社会環境工学専攻に出願する者は, 出願時に, A試験又はB試験のどちらかを選択してください。

注2) 出願時に, 受験する系を選択してください。

注3) 専攻の大分野として電気エネルギー工学, 電子デバイス工学又は電子システム工学を担当する教員を指導教員として志望する者は電気電子工学を選択してください。

同様に, 専攻の大分野としてコンピュータ工学又はシステム情報工学を担当する教員を指導教員として志望する者は情報システム工学を選択してください。

注4) 岩手大学工学部電気電子工学科, 情報システム工学科及び福祉システム工学科卒業見込みの者は除きます。

注5) プレゼンテーション試験では, 卒業研究等(企業等における研究開発業務を含む。)についてのプレゼンテーション(約15分。日本語又は英語)を課し, 関連専門科目を含む内容について質疑応答を行います。試験時間は一人あたり約30分です。プレゼンテーションでは, 研究目的と背景, 研究成果及び今後の課題と入学後を含む研究計画について発表してください。飛び入学や早期卒業に該当する者で, まだ卒業研究等に着手していないものは今後の研究計画(目的と背景を含む)について発表してください。評価は, 質疑応答に基づき, 勉学意欲, 探究心, 創造力, 遂行力について行います。

なお, プレゼンテーションにはプロジェクタを用意しますので, D-sub 15pin コネクタで接続可能なパソコンを持参してください。作品等の説明が必要な場合には, 作品を記録した写真やビデオのパソコンによる表示か, ポートフォリオにより行ってください。

注6) 専攻独自の外国語(英語)の試験は実施しません。

TOEIC又はTOEFLのスコアに基づいて成績を評価します。

プレゼンテーション試験当日にTOEICのOfficial Score Certificate(公式認定証)又はTOEIC-IP(カレッジTOEICなどとも呼ばれる。)のスコアレポート(個人成績表), あるいはTOEFL-PBT, TOEFL-CBT, TOEFL-iBTのExaminee's Score Record(受験者用控えスコア票)又はTOEFL-ITPのスコアカードのうちいずれかひとつの原本と写しを提出してください。原本は確認後, 返却します。

スコアの有効期限は学力検査初日から4年以内に受験したものとします。

なお, TOEFL-PBT(TOEFL-ITPを含む。), TOEFL-CBT, TOEFL-iBT間のスコアの換算は, ETSのウェブサイトにある換算表を使用します。TOEIC(TOEIC-IPを含む。)とTOEFL-PBT間のスコアの換算には次式を使用します。

$$(\text{TOEFL-PBTスコア} - 296) \div 0.348 = \text{TOEIC スコア}$$

また, 英語を母国語とする者については, スコアの提出を免除することが可能ですので, スコアの確認の際に申し出てください。ただし, プレゼンテーションは英語で行ってください。

なお, 提出されたスコアに虚偽があった場合は, 入学決定後でも入学を取り消します。

## (2) 試験の日時・会場

## 【第1期募集】

専攻	期日		時間	試験区分	会場
応用化学・生命工学専攻 機械システム工学専攻 社会環境工学専攻	A試験	平成22年8月31日(火)	10:00~11:30 13:00~16:00	外国語 専門科目 基礎科目 面接	工学部 (工学部正 門付近に試 験室案内図 を掲示しま す。)
		平成22年9月1日(水)	9:00~10:30 13:00~		
	B試験	平成22年8月31日(火)	10:00~11:30 13:00~15:00	外国語 専門科目 基礎科目 面接	
		平成22年9月1日(水)	9:00~11:00 13:00~		
フロンティア材料機能 工学専攻	平成22年8月31日(火) 平成22年9月1日(水)		10:00~11:30 13:00~16:00 9:00~10:30 13:00~	外国語 専門科目 基礎科目 面接	
電気電子・情報 システム工学専攻	A試験	平成22年8月31日(火)	10:00~11:00 13:00~16:00	外国語 総合科目 面接	
		平成22年9月1日(水)	13:00~		
	B試験	平成22年8月31日(火)	10:00~11:30 13:00~15:00	外国語 専門科目 基礎科目 面接	
		平成22年9月1日(水)	9:00~11:00 13:00~		
デザイン・メディア 工学専攻	平成22年8月31日(火) 平成22年9月1日(水)		10:00~ 10:00~ (注1)	プレゼンテ ーション試験 (スコアの確 認を含む)	
金型・鋳造工学専攻	平成22年8月31日(火)		10:00~11:30 13:00~16:00	外国語 専門科目 基礎科目 小論文 面接	
	平成22年9月1日(水)		9:00~10:30 13:00~14:30 15:00~		

## 【第2期募集】

専攻	期日		時間	試験区分	会場
応用化学・生命工学専攻 機械システム工学専攻 社会環境工学専攻	A試験	平成23年2月1日(火)	10:00~11:30 13:00~16:00	外国語 専門科目 基礎科目 面接	工学部 (工学部正 門付近に試 験室案内図 を掲示しま す。)
		平成23年2月2日(水)	9:00~10:30 13:00~		
	B試験	平成23年2月1日(火)	10:00~11:30 13:00~15:00	外国語 専門科目 基礎科目 面接	
		平成23年2月2日(水)	9:00~11:00 13:00~		
フロンティア材料機能 工学専攻	平成23年2月1日(火)		10:00~11:30 13:00~16:00	外国語 専門科目 基礎科目 面接	
	平成23年2月2日(水)		9:00~10:30 13:00~		

専 攻	期 日		時 間	試験区分	会 場
電 気 電 子 ・ 情 報 シ ス テ ム 工 学 専 攻	A 試験	平成23年 2 月 1 日 (火)	10 : 00 ~ 11 : 00	外国語	工 学 部 (工学部正 門付近に試 験室案内図 を掲示しま す。)
		平成23年 2 月 2 日 (水)	13 : 00 ~ 16 : 00	総合科目	
	B 試験	平成23年 2 月 1 日 (火)	13 : 00 ~	面接	
		平成23年 2 月 2 日 (水)	10 : 00 ~ 11 : 30	外国語	
デ ザ イ ン ・ メ デ ィ ア 工 学 専 攻	平成23年 2 月 1 日 (火)	13 : 00 ~ 15 : 00	専門科目		
	平成23年 2 月 2 日 (水)	9 : 00 ~ 11 : 00	基礎科目		
金 型 ・ 鑄 造 工 学 専 攻	平成23年 2 月 1 日 (火)	13 : 00 ~	面接		
		平成23年 2 月 2 日 (水)	10 : 00 ~	プレゼンテ ーション試験 (スコアの確 認を含む)	
	平成23年 2 月 1 日 (火)	10 : 00 ~	10 : 00 ~	(注1)	
		平成23年 2 月 2 日 (水)	10 : 00 ~	(注1)	
金 型 ・ 鑄 造 工 学 専 攻	平成23年 2 月 1 日 (火)	10 : 00 ~ 11 : 30	外国語		
		平成23年 2 月 2 日 (水)	13 : 00 ~ 16 : 00	専門科目	
	平成23年 2 月 2 日 (水)	9 : 00 ~ 10 : 30	基礎科目		
		13 : 00 ~ 14 : 30	小論文		
		15 : 00 ~	面接		

注1) デザイン・メディア工学専攻のプレゼンテーション試験の開始時刻は、受験者によって異なります。受験票を送付する際に、試験開始時刻を通知しますので、必ず確認してください。

注2) 試験当日は、必ず「受験票」を持参し、試験開始30分前までに入室してください。(厳守)

注3) 試験開始時刻に遅刻した場合は、係員の指示に従ってください。

試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、面接以外の受験科目等は試験時間の延長はしません。

## 5 合格者の発表

合格者には郵便により合格通知書を送付するとともに、合格者の受験番号を次により発表します。

合格発表の日時		場 所
第1期募集	平成22年 9 月13日 (月)	岩手大学事務局及び工学部掲示場
第2期募集	平成23年 2 月14日 (月)	

合否の問い合わせには、一切応じません。

## 6 入学手続き等の概要

入学手続き等の概要は次のとおりです。なお、詳細については、合格者に送付する入学手続き関係書類で指示します。

### (1) 大学納付金

区 分	金 額
入 学 料	282,000円 (予定額)
授業料 (年額)	535,800円 (予定額)

注1) 上記納付金は予定額であり、入学時及び在学中に納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金が適用されます。

注2) 国費 (日本国政府) 外国人留学生の入学料及び授業料は不要です。

注3) 授業料は、希望により前期分267,900円を納付の際に、後期分267,900円も併せて納付することができます。

(2) 大学納付金及び学生教育研究災害傷害保険料等の納付方法並びに入学料、授業料免除の申請方法及び必要書類については、合格者に別途通知します。

## 7 長期履修制度

本研究科では、職業を有しているなどの事情（注1）によって、標準修業年限である2年を超えて、一定の期間（最長4年まで）にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを願い出た者には、審査の上許可することがあります。

この制度の適用学生の授業料総額は、標準修業年限（2年）で修了する学生が納める授業料総額と同額となります。

なお、この制度の申請方法等は、合格者に別途通知します。

注1）該当者：① 職業を有している者（1日8時間週3日以上又は1日4時間週4日以上勤務者で6月以上の継続雇用者）

② 家事従事者又は育児にあたっている者

③ 前各号に該当しないが本人の収入で生計を維持している者

④ その他、本研究科が適当と認める者

注2）長期履修学生のための特別なカリキュラムは、原則として用意しません。

## 8 個人情報の取り扱い

出願書類に記載されている氏名、性別、住所その他の個人情報（入試成績に関する情報を含む。）は、本学において、入学試験の実施・入学手続き、入学者の受入準備、奨学金等の制度の運用、統計資料等の作成及び入試に関する調査・研究に利用します。

また、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、本人又は第三者の権利利益を不当に侵害するおそれがない場合に限り、提供することがあります。

(1) 本人の同意があるとき、又は本人に提供するとき。

(2) 行政機関（行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律第2条第1項に規定する行政機関）、他の独立行政法人等、地方公共団体又は地方独立行政法人に提供する場合において、提供を受ける者が、法令の定める事務又は業務の遂行に必要な限度で提供に係る個人情報を利用し、かつ、利用について相当な理由のあるとき。

(3) 統計の作成又は学術研究の目的のために他の機関に提供するとき。

(4) 本学の業務を行うために、個人情報の電算処理を外部に委託する場合、個人情報の提供が必要などき。（なお、この場合には、個人情報保護法の趣旨に則った保護管理の事項を明記のうえ契約します。）

## Ⅳ 推薦入試

### 1 募集人員

専攻	募集人員
応用化学・生命工学専攻	6名
フロンティア材料機能工学専攻	10名
電気電子・情報システム工学専攻	6名
機械システム工学専攻	15名
社会環境工学専攻	10名
金型・鋳造工学専攻	4名
計	51名

### 2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) それぞれの分野の専門の教育を受け、平成23年3月に大学を卒業見込みの者で、かつ、人物・学力ともに優れ、出身大学の学長(学部長)が責任をもって推薦でき、合格した場合には入学を確約できるもの
  - (2) 短期大学又は高等専門学校の専攻科を平成23年3月に修了見込みの者で、大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みのもので、かつ、人物・学力ともに優れ、出身大学の学長又は出身学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合には入学を確約できるもの
- 注) 出願資格(2)で出願し、合格した者で、入学料納付の時までに必要な条件が得られないことが確定した場合、入学を許可しません。

### 3 出願手続き

#### (1) 出願方法

志願者は、次の出願書類等を取りそろえ、郵送又は持参により提出してください。

なお、郵送する場合は、必ず速達書留とし、封筒の表に「大学院工学研究科博士前期課程推薦入試 出願書類等在中」と朱書きしてください。

#### (2) 出願書類等提出先

岩手大学学務部入試課  
〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8  
☎019-621-6064

#### (3) 出願受付期間

平成22年6月21日(月)から6月23日(水)まで【必着】  
持参の場合、受付時間は9時から16時までです。

#### (4) 出願書類等

入学志願票，履歴書	所定の用紙に必要事項を記入してください。
電算処理カード	22ページ以降の記入要領及び記入例をよく読み、志願者本人が記入してください。電算処理されますので、汚したり折り曲げたりしないでください。
写真票・受験票・入学検定料(振替払込受付証明書)	写真票には、写真(縦4cm×横3cm)をはってください。 太線枠内に、志願者本人が記入してください。 検定料30,000円(別途振込手数料がかかります。)を同封している所定の「払込取扱票」を使用し、必ず郵便局の窓口で払い込んでください。(郵便振替自動受付機やATMは利用しないでください) 払込後、受け取った「振替払込受付証明書(お客さま用)」の日附印欄の押印を確認のうえ、所定の欄にはってください。 検定料は、出願書類受理後はいかなる理由があっても返還しません。 日本国政府から奨学金が支給されている外国人留学生は、検定料を徴収しませんので、「国費外国人留学生証明書」を添付してください。

成績証明書	出身大学の学長（学部長）又は出身学校長が作成し、厳封したものであり、出身学校の証明書自動発行機で発行されるものは厳封の必要はありません。 なお、出願資格(2)で出願する者は、高等専門学校等の成績証明書も提出してください。 外国語（英語は除く）で書かれた証明書には日本語訳又は英語訳を添付してください。
推薦書	出身大学（出身学校）の指導教員等が作成し、厳封したもの
卒業（修了）見込証明書	出身大学（出身学校）所定のもの 外国語（英語は除く）で書かれた証明書には日本語訳又は英語訳を添付してください。
学士の学位授与（申請）証明書	出願資格(2)で出願する者は学位授与申請受理証明書又は「大学評価・学位授与機構に学位の申請（予定）をしている。」旨が明記されている証明書（様式任意）で、出身大学等の学長（学部長）又は出身学校長が作成したものを提出してください。
受験票送付用封筒	所定の封筒にあて先を記入し、 <b>350円切手（速達料金）</b> をはってください。
ラベル票	所定のラベル票用紙に必要事項を記入してください。

(5) 出願書類等提出上の注意

- ① 出願書類等受理後は、いかなる理由があっても志望専攻等の記載事項の変更を認めません。
- ② 出願書類等に不備のあるものは受理しませんので、記載事項に記入もれ、誤記入等のないよう十分注意してください。
- ③ 受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 出願後、現住所等に変更があった場合は、速やかに連絡してください。
- ⑤ 出願書類等に虚偽があった場合は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

#### 4 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査（口頭試問）、面接及び書類審査の結果を総合して判定します。

判定は全ての学力検査及び面接を受験した者に対して行います。

ただし、次に掲げる専攻では、岩手大学工学部の当該学科卒業見込みの者については、以下の方法により判定します。

- ・ 電気電子・情報システム工学専攻：岩手大学工学部電気電子工学科、情報システム工学科及び福祉システム工学科卒業見込みの者は書類審査の結果で判定します。
- ・ 機械システム工学専攻：岩手大学工学部機械工学科及び福祉システム工学科卒業見込みの者は面接及び書類審査の結果を総合して判定します。
- ・ 社会環境工学専攻：岩手大学工学部建設環境工学科及び福祉システム工学科卒業見込みの者は書類審査の結果で判定します。

(1) 試験実施科目等：口頭試問

(2) 試験の日時・会場

専攻	期日	時間	試験区分	会場
応用化学・生命工学専攻	平成22年7月9日(金)	13:00～	口頭試問及び面接	工学部
フロンティア材料機能工学専攻				
電気電子・情報システム工学専攻				
機械システム工学専攻				
社会環境工学専攻				
金型・鋳造工学専攻				

注1) 試験当日は、必ず「受験票」を持参し、試験開始30分前までに入室してください。(厳守)

注2) 試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めますので、試験開始時刻に遅刻した場合は、係員の指示に従ってください。

注3) 工学部正門付近に試験室案内図を掲示します。

## 5 合格者の発表

合格者には郵便により合格通知書を送付するとともに、合格者の受験番号を次により発表します。

合格発表の日時	場 所
平成22年7月23日（金）13時	岩手大学事務局及び工学部掲示場

合否の問い合わせには、一切応じません。

## 6 その他

「入学手続き等の概要」、「長期履修制度」及び「個人情報の取り扱い」については、「Ⅲ 一般入試」（7～8ページ）を参照してください。

## V 社会人入試

### 1 募集人員

専攻	募集人員	
	第1期	第2期
応用化学・生命工学専攻	若干名	
フロンティア材料機能工学専攻		
電気電子・情報システム工学専攻		
機械システム工学専攻		
社会環境工学専攻		
デザイン・メディア工学専攻		
金型・鋳造工学専攻		

### 2 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、各種の研究機関、教育機関及び企業等に在職している研究者又は技術者で、入学後もその身分を有し、それぞれの分野の学問研究に強い興味を持ち、勤務先の所属長等が大学院で十分な研究成果をあげ得ると判断し、責任をもって推薦できるもの

注) 大学の卒業資格を有していない者は、個別の出願資格審査が必要となりますので、「Ⅶ 個別の出願資格審査」を参照してください。

- (1) 学校教育法第83条第1項に定める大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により、独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号（大学院及び大学の専攻科の入学に関し大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定））
- (8) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成23年3月31日までに22歳に達するもの

### 3 出願手続き

#### (1) 出願方法

志願者は、次の出願書類等を取りそろえ、郵送又は持参により提出してください。

なお、郵送する場合は、必ず**速達書留**とし、封筒の表に「**大学院工学研究科博士前期課程社会人入試出願書類等在中**」と朱書きしてください。

#### (2) 出願書類等提出先

岩手大学学務部入試課

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

☎019-621-6064

#### (3) 出願受付期間

第1期募集 平成22年8月17日（火）から8月19日（木）まで【**必着**】

第2期募集 平成23年1月19日（水）から1月21日（金）まで【**必着**】

持参の場合、受付時間は9時から16時までです。

(4) 出願書類等

入学志願票，履歴書	所定の用紙に必要事項を記入してください。
電算処理カード	22ページ以降の記入要領及び記入例をよく読み，志願者本人が記入してください。電算処理されますので，汚したり折り曲げたりしないでください。
写真票・受験票・入学検定料 (振替払込受付証明書)	写真票には，写真（縦4cm×横3cm）をはってください。 太線枠内に，志願者本人が記入してください。 検定料30,000円（別途振込手数料がかかります。）を同封している所定の「払込取扱票」を使用し，必ず郵便局の窓口で払い込んでください。（郵便振替自動受付機やATMは利用しないでください。） 払込後，受け取った「振替払込受付証明書（お客さま用）」の日附印欄の押印を確認のうえ，所定の欄にはってください。 検定料は，出願書類受理後はいかなる理由があっても返還しません。
成績証明書	出身大学の学長（学部長）又は出身学校長が作成し，厳封したもの ただし，出身学校の証明書自動発行機で発行されるものは厳封の必要はありません。 なお，出願資格(2)で出願する者は，高等専門学校等の成績証明書も提出してください。 外国語（英語は除く）で書かれた証明書には日本語訳又は英語訳を添付してください。
推薦書	勤務先の所属長又はそれに準じる者が作成し，厳封したもの
卒業証明書又は修了証明書	出身大学（出身学校）所定のもの 外国語（英語は除く）で書かれた証明書には日本語訳又は英語訳を添付してください。
学士の学位授与 (申請)証明書	出願資格(2)で出願する者は次のいずれかを提出してください。 ① 学位授与証明書 ② 学位授与申請受理証明書又は「大学評価・学位授与機構に学位授与の申請（予定）をしている。」旨が明記されている証明書（様式任意）で，出身大学等の学長（学部長）又は出身学校長が作成したもの
受験許可書	勤務先の長又は代表者の署名捺印が必要です。（様式任意）
受験票送付用封筒	所定の封筒にあて先を記入し，350円切手（速達料金）をはってください。
ラベル票	所定のラベル票用紙に必要事項を記入してください。
その他の書類	出願資格審査で認定を受けた者は，認定書の写しを提出してください。

(5) 出願書類等提出上の注意

- ① 出願書類等受理後は，いかなる理由があっても志望専攻等の記載事項の変更を認めません。
- ② 出願書類等に不備のあるものは受理しませんので，記載事項に記入もれ，誤記入等のないよう十分注意してください。
- ③ 受理した出願書類等は，いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 出願後，現住所等に変更があった場合は，速やかに連絡してください。
- ⑤ 出願書類等に虚偽があった場合は，入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

#### 4 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査（口頭試問、小論文）、面接及び書類審査の結果を総合して判定します。

ただし、本研究科が必要と判断した場合は、電気電子・情報システム工学専攻及び機械システム工学専攻において筆記試験（外国語、総合科目又は専門科目）を課すことがあります。なお、該当者には別途通知します。

なお、判定は全ての学力検査及び面接を受験した者に対して行います。

(1) 試験実施科目等：口頭試問、小論文

(2) 試験の日時・会場

##### 【第1期募集】

専攻	期日	時間	試験区分	会場
応用化学・生命工学専攻 フロンティア材料機能工学専攻 電気電子・情報システム工学専攻 機械システム工学専攻 社会環境工学専攻	平成22年9月1日(水)	13:00～	口頭試問及び面接	工学部
デザイン・メディア工学専攻	平成22年8月31日(火) 平成22年9月1日(水)	10:00～ 10:00～ (注1)	プレゼンテーション試験 外国語(英語) (注1)	
金型・鋳造工学専攻	平成22年9月1日(水)	13:00～14:30 15:00～	小論文 面接(プレゼンテーション試験を含む)	

##### 【第2期募集】

専攻	期日	時間	試験区分	会場
応用化学・生命工学専攻 フロンティア材料機能工学専攻 電気電子・情報システム工学専攻 機械システム工学専攻 社会環境工学専攻	平成23年2月2日(水)	13:00～	口頭試問及び面接	工学部
デザイン・メディア工学専攻	平成23年2月1日(火) 平成23年2月2日(水)	10:00～ 10:00～ (注1)	プレゼンテーション試験 外国語(英語) (注1)	
金型・鋳造工学専攻	平成23年2月2日(水)	13:00～14:30 15:00～	小論文 面接(プレゼンテーション試験を含む)	

注1) デザイン・メディア工学専攻のプレゼンテーション試験及び外国語(英語)は、5ページの注5)及び注6)を参照してください。

また、プレゼンテーション試験の開始時刻は、受験者によって異なります。受験票を送付する際に、試験開始時刻を通知しますので、必ず確認してください。

注2) 金型・鋳造工学専攻ではプレゼンテーション試験も課します。発表は、企業等におけるこれまでの業務内容等の他、入学後の研究計画等を日本語又は英語で行ってください(約15分)。面接・プレゼンテーション・質疑応答を含めた試験時間は1人あたり約30分とします。

注3) 試験当日は、必ず「受験票」を持参し、試験開始30分前までに入室してください。(厳守)

注4) 試験開始時刻に遅刻した場合は、係員の指示に従ってください。

試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、面接以外の受験科目等は試験時間の延長はしません。

注5) 工学部正門付近に試験室案内図を掲示します。

## 5 教育方法の特例措置等

本研究科は、大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例を適用して、社会人に門戸を開放しています。そのため、事情によっては、夜間、土曜日及び夏季休業中等にも研究指導を行う場合があります。

## 6 その他

「合格者の発表」、「入学手続き等の概要」、「長期履修制度」及び「個人情報の取り扱い」については、「Ⅲ 一般入試」（7～8ページ）を参照してください。

## Ⅵ 外国人留学生入試

### 1 募集人員

専攻	募集人員	
	第1期	第2期
応用化学・生命工学専攻	若干名	
フロンティア材料機能工学専攻		
電気電子・情報システム工学専攻		
機械システム工学専攻		
社会環境工学専攻		
デザイン・メディア工学専攻		
金型・鋳造工学専攻		

### 2 出願資格

日本国籍を有しない者で、修学に必要な程度の日本語能力があり、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成23年3月までに修了見込みの者
- (2) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成23年3月までに修了見込みの者
- (3) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者及び平成23年3月までに修了見込みの者で、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められたもの
- (4) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成23年3月31日までに22歳に達するもの

注) (3)又は(4)で出願しようとする者は、「Ⅶ 個別の出願資格審査」を参照してください。

### 3 出願手続き

#### (1) 出願方法

志願者は、次の出願書類等を取りそろえ、郵送又は持参により提出してください。

なお、郵送する場合は、必ず速達書留とし、封筒の表に「大学院工学研究科博士前期課程外国人留学生入試出願書類等在中」と朱書きしてください。

#### (2) 出願書類等提出先

岩手大学学務部入試課

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

☎019-621-6064

#### (3) 出願受付期間

第1期募集 平成22年8月17日(火)から8月19日(木)まで【必着】

第2期募集 平成23年1月19日(水)から1月21日(金)まで【必着】

持参の場合、受付時間は9時から16時までです。

#### (4) 出願書類等

入学志願票，履歴書	所定の用紙に必要事項を記入してください。 なお、学歴は小学校入学時から記入してください。
電算処理カード	22ページ以降の記入要領及び記入例をよく読み、志願者本人が記入してください。電算処理されますので、汚したり折り曲げたりしないでください。

写真票・受験票・入学検定料 (振替払込受付証明書)	写真票には、写真(縦4cm×横3cm)をはってください。 太線枠内に、志願者本人が記入してください。 検定料30,000円(別途振込手数料がかかります。)を同封している所定の「払込取扱票」を使用し、必ず郵便局の窓口で払い込んでください。(郵便振替自動受付機やATMは利用しないでください。) 払込後、受け取った「振替払込受付証明書(お客さま用)」の日附印欄の押印を確認のうえ、所定の欄にはってください。 検定料は、出願書類受理後はいかなる理由があっても返還しません。 日本国政府から奨学金が支給されている外国人留学生は、検定料を徴収しませんので、「国費外国人留学生証明書」を添付してください。
成績証明書	出身大学の学長(学部長)又は出身学校長が作成し、厳封したもの ただし、出身学校の証明書自動発行機で発行されるものは厳封の必要はありません。 外国語(英語は除く)で書かれた証明書には日本語訳又は英語訳を添付してください。
卒業証明書又は卒業見込証明書	出身大学(出身学校)所定のもの 外国語(英語は除く)で書かれた証明書には日本語訳又は英語訳を添付してください。
推薦書	出身大学(出身学校)の指導教員等が作成し、厳封したもの
外国人登録証明書	外国人登録証明書又は外国人登録原票記載事項証明書を提出してください。
受験票送付用封筒	所定の封筒にあて先を記入し、350円切手(速達料金)をはってください。
ラベル票	所定のラベル票用紙に必要事項を記入してください。
その他の書類	出願資格審査で認定を受けた者は、認定書の写しを提出してください。

(5) 出願書類等提出上の注意

- ① 出願書類等受理後は、いかなる理由があっても志望専攻等の記載事項の変更を認めません。
- ② 出願書類等に不備のあるものは受理しませんので、記載事項に記入もれ、誤記入等のないよう十分注意してください。
- ③ 受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 出願後、現住所等に変更があった場合は、速やかに連絡してください。
- ⑤ 出願書類等に虚偽があった場合は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

4 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査(筆記試験及び口頭試問)、面接及び書類審査を総合して判定します。  
なお、判定は全ての学力検査及び面接を受験した者に対して行います。

(1) 試験実施科目等

専攻	筆記試験			口頭試問及び面接
	基礎科目	専門科目	外国語	
応用化学・生命工学専攻 フロンティア 材料機能工学専攻				各専攻とも全員に課す
電気電子・情報システム工学専攻	総合科目 次の2分野から1分野を選択(注1) 電気電子工学(電磁気学、電気・電子回路論) 情報システム工学(フーリエ解析・ラプラス変換、線形代数、離散数学、確率統計学、計算機アルゴリズム、論理回路、計算機システム 7問題中4問題選択)		英語	
機械システム工学専攻		材料力学、機械力学、水力学、熱力学	英語	
社会環境工学専攻				

デザイン・メディア工学専攻	総合科目 筆記試験は課さないが、プレゼンテーション試験を課す。 (注2)	課す (注2)	課さない
金型・鋳造工学専攻			課す

注1) 専攻の大分野として電気エネルギー工学、電子デバイス工学又は電子システム工学を担当する教員を指導教員として志望する者は電気電子工学を選択してください。

同様に、専攻の大分野としてコンピュータ工学又はシステム情報工学を担当する教員を指導教員として志望する者は情報システム工学を選択してください。

注2) デザイン・メディア工学専攻のプレゼンテーション試験及び外国語(英語)は、5ページの注5)及び注6)を参照してください。

## (2) 試験の日時・会場

### 【第1期募集】

専攻	期日	時間	試験区分	会場
応用化学・生命工学専攻 フロンティア材料機能工学専攻 社会環境工学専攻	平成22年9月1日(水)	13:00～	口頭試問及び面接	工学部 (工学部 正門付 近に試 験室案 内図を 掲示し ます。)
電気電子・情報システム工学専攻	平成22年8月31日(火)	10:00～11:00 13:00～16:00	外国語 総合科目	
	平成22年9月1日(水)	13:00～	口頭試問及び面接	
機械システム工学専攻	平成22年8月31日(火)	10:00～11:30 13:00～16:00	外国語 専門科目	
	平成22年9月1日(水)	13:00～	口頭試問及び面接	
デザイン・メディア工学専攻	平成22年8月31日(火)	10:00～	プレゼンテーション試験 (スコアの確認を 含む)	
	平成22年9月1日(水)	10:00～ (注1)		
金型・鋳造工学専攻	平成22年9月1日(水)	15:00～	口頭試問及び面接	

### 【第2期募集】

専攻	期日	時間	試験区分	会場
応用化学・生命工学専攻 フロンティア材料機能工学専攻 社会環境工学専攻	平成23年2月2日(水)	13:00～	口頭試問及び面接	工学部 (工学部 正門付 近に試 験室案 内図を 掲示し ます。)
電気電子・情報システム工学専攻	平成23年2月1日(火)	10:00～11:00 13:00～16:00	外国語 総合科目	
	平成23年2月2日(水)	13:00～	口頭試問及び面接	
機械システム工学専攻	平成23年2月1日(火)	10:00～11:30 13:00～16:00	外国語 専門科目	
	平成23年2月2日(水)	13:00～	口頭試問及び面接	
デザイン・メディア工学専攻	平成23年2月1日(火)	10:00～	プレゼンテーション試験 (スコアの確認を 含む)	
	平成23年2月2日(水)	10:00～ (注1)		
金型・鋳造工学専攻	平成23年2月2日(水)	15:00～	口頭試問及び面接	

注1) デザイン・メディア工学専攻のプレゼンテーション試験の開始時刻は、受験者によって異なります。受験票を送付する際に、試験開始時刻を通知しますので、必ず確認してください。

注2) 試験当日は、必ず「受験票」を持参し、試験開始30分前までに入室してください。(厳守)

注3) 試験開始時刻に遅刻した場合は、係員の指示に従ってください。

試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、面接以外の受験科目等は試験時間の延長はしません。

## 5 その他

「合格者の発表」、「入学手続き等の概要」、「長期履修制度」及び「個人情報の取り扱い」については、「Ⅲ 一般入試」(7～8ページ)を参照してください。

## Ⅶ 個別の出願資格審査

1 「Ⅲ 一般入試」「2 出願資格」の(8)①に該当する者は、次の条件を満たす者とします。

- (1) 在学期間について  
平成23年3月末において、大学在学期間が3年間に達すること。  
なお、休学期間は在学期間に含まないものとします。
- (2) 学業成績について  
出願時点において、修得する必要がある科目の全てを履修し、修得単位の4/5以上が上位の評価(点数評価に換算して80点以上)であること。  
なお、入学試験に合格した後、平成23年3月末までに、3年次までに修得する必要がある必修科目の全部を修得し、修得した選択科目を含め卒業要件単位数の4/5以上の単位の修得及び修得単位の4/5以上が上位の評価が得られないことが確定した場合、入学を許可しません。
- (3) 上記(1)及び(2)を満たす者は、出願資格の事前審査を行うので、出願に先立って次の書類を提出してください。
  - ① 出身大学の在学証明書又は在学期間証明書(入学年月日が記載されているもの)
  - ② 履修手引き(授業内容一覧が記載されたもの)
  - ③ 成績証明書(厳封したもの)
  - ④ 出願資格認定申請書(所定の用紙)
  - ⑤ その他(必要により提出を求める書類)※ 出願資格認定申請書は、岩手大学学務部入試課まで請求してください。
- (4) 注意事項  
本出願資格により入学した場合、当人の学部学生としての学籍上の身分は、退学となります。したがって、大学の学部を卒業していることを要件と定められている種々の国家試験等の資格試験は、受験できなくなります。

2 「Ⅲ 一般入試」「2 出願資格」の(8)②、③及び④若しくは「Ⅵ 外国人留学生入試」「2 出願資格」の(3)に該当する者は、次の条件を満たす者とします。

- (1) 学業成績について  
出願時点において、修得する必要がある科目の全てを履習し、修得単位の4/5以上が上位の評価(点数評価に換算して80点以上)であること。  
なお、入学試験に合格した後、最終学校において所定の単位を修得できないことが確定した場合、又は最終学校修了時の修得単位の4/5以上が上位の評価が得られないことが確定した場合は入学を許可しません。
- (2) 上記要件を満たす者は、出願資格の事前審査を行うので、出願に先立って次の書類を提出してください。
  - ① 出身大学の在学証明書又は在学期間証明書(入学年月日が記載されているもの)
  - ② 履修手引き(授業内容一覧が記載されたもの)
  - ③ 成績証明書(厳封したもの)
  - ④ 出願資格認定申請書(所定の用紙)
  - ⑤ その他(必要により提出を求める書類)※ 出願資格認定申請書は、岩手大学学務部入試課まで請求してください。

3 「Ⅲ 一般入試」「2 出願資格」の(9)及び「Ⅴ 社会人入試」「2 出願資格」の(8)若しくは「Ⅵ 外国人留学生入試」「2 出願資格」の(4)に該当する者は、主に短期大学、高等専門学校、専修学校の卒業生など、大学の卒業資格を有していない者及び大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了した者です。

なお、大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了した者については、大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは国立大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として相当期間(おおむね1年以上とする。)研究に従事しており、平

成23年3月31日までに22歳に達する者としてします。

この資格で出願しようとする者は、出願資格の事前審査を行うので、出願に先立って次の書類を提出してください。

- (1) 出身大学又は出身学校の卒業証明書
- (2) 成績証明書（厳封したもの）
- (3) 出願資格認定申請書（所定の用紙）
- (4) 研究歴を証明する証明書又は在職証明書（勤務先の所属長等が作成したもの。様式任意）
- (5) その他（必要により提出を求める書類）

※ 出願資格認定申請書は、岩手大学学務部入試課まで請求してください。

4 金型・鋳造工学専攻の社会人入試に、「Ⅴ 社会人入試」「2 出願資格」の(8)で出願する者は、次のいずれかの要件を満たす者としてします。

- ① 高等学校卒業後、8年以上の実務経験を有する者
- ② 短期大学・高等専門学校卒業後、4年以上の実務経験を有する者

※ 最終学歴が①、②以外の者で、出願を希望するものは、学務部入試課（☎ 019-621-6064）に問い合わせてください。

上記要件で出願する者は、出願資格の事前審査を行うので、出願に先立って次の書類を提出してください。

- (1) 最終学歴の出身学校の卒業証明書
- (2) 成績証明書（厳封したもの）
- (3) 推薦書（社会人用）（所定の用紙に勤務先の所属長等が記入し、厳封したもの）
- (4) 出願資格認定申請書（所定の用紙）
- (5) その他（必要により提出を求める書類）

※ 出願資格認定申請書は、岩手大学学務部入試課まで請求してください。

5 提出期間等

- (1) 提出期間：第1期募集 平成22年7月12日（月）から7月14日（水）まで【必着】  
第2期募集 平成22年12月6日（月）から12月8日（水）まで【必着】  
持参の場合、受付時間は9時から16時までです。

- (2) 提出先：〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8  
岩手大学学務部入試課（☎ 019-621-6064）

※ 審査結果は、第1期募集は平成22年8月9日（月）まで、第2期募集は平成23年1月12日（水）までに本人あてに通知します。

なお、認定された者は、所定の期間内に願手続きをしてください。

## Ⅷ 障がい等を有する入学志願者との事前相談

本研究科に入学を志願する者で、障がいあるいは疾病等により受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、第1期募集は平成22年6月11日（金）まで、第2期募集は平成22年12月17日（金）までに「事前相談について」（次ページ様式参照）を提出してください。

なお、必要により、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行う場合があります。

### 提出先

岩手大学学務部入試課  
〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

平成 年 月 日

岩手大学長 殿

氏 名  
(志願者との関係 )

住 所

電 話 — —

## 事前相談について

下記により事前に相談したいので、関係書類を添えて提出します。

### 記

#### 1 志願者氏名

ふりがな 氏 名	男・女	生年月日	昭和 平成	年	月	日生
現住所	〒 —	電話	—	—		
出身学校名		電話	—	—		

#### 2 志望研究科等名

研究科・専攻	研究科	専攻
--------	-----	----

#### 3 障がいの種類・程度

#### 4 受験上特別な配慮を希望する事項・内容

#### 5 修学上特別な配慮を希望する事項・内容

#### 6 出身学校在学中にとられていた特別な措置

#### 7 日常生活の状況

#### 8 添付書類

- (1) 健康診断書
- (2) その他

注1 出身学校関係者等が記入願います。

注2 6の「出身学校在学中にとられていた特別な措置」については、詳細に記入願います。

注3 本用紙に書ききれない場合には、適宜別紙に記入してもかまいません。

注4 健康診断書等の書類は、必ず添付願います。

注5 ※欄には記入しないでください。

※ 大学記入欄

## Ⅷ 電算処理カードの記入要領及び記入例

### 1 記入要領

- (1) 電算処理カードは、次の要領で記入してください。
  - ① 「大学記入欄」には記入しないでください。
  - ② 「5. 本人の状況欄」の「進学」とは、大学等の卒業見込の者が該当します。
  - ③ 電算処理カードの3. 4. 5. 6. 7. 9. 10の欄の□の部分には、下記の「正しい書き方例」にならって丁寧に英数字を記入してください。
  - ④ 漢字は正しく楷書で、記入してください。
- (2) 電算処理カードは、必ず**HBのシャープペンシル (0.5mmしん)**で濃く丁寧に記入してください。
- (3) 間違って記入した場合は、プラスチック消しゴムで丁寧に消してから書き直してください。
- (4) 電算処理カードは、絶対に折り曲げたり汚したりしないでください。

### 2 正しい書き方例

正しい書き方例

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F G H J K L M N P Q  
R S T U X Y Z

↑個々の注意点 (○印の部分は、特に注意してください。)

○0	輪を大きく円にしない	0, 0	等は不可	注 5	縦線を突き出す	5, 5	等は不可
1	垂直にまっすぐに	/, 1	等は不可	6	線を長く輪はつなぐ	6, 6	等は不可
2	下の横線を真横に	2, 2	等は不可	7	カギをつけ脚は垂直に	>, 7	等は不可
注 3	中央を突き出す	3, 3	等は不可	注 8	交点をXに下の円を大きく	8, 8	等は不可
4	線は十分長く	4, 4	等は不可	9	輪はつなぎ縦線は長くのばす	9, 9	等は不可



## X 教育研究分野及び授業科目（平成22年4月1日現在）

※印の教員は、志願票の「志望する指導教員名」欄に記入することはできません。  
 ☆印の教員は、金型・鋳造工学専攻所属の教員です。

### 応用化学・生命工学専攻

大分野	教育研究分野		授業科目	担当教員	
	名称	内容		氏名	職位
有機・高分子化学	有機反応化学	有機分子合成のための基本となる反応の開発に関する教育研究	有機元素化学特論 有機反応化学特論	未定 木村 毅	<small>地域連携推進センター准教授</small>
	有機機能化学	有機分子の構造と化学反応性に関する教育研究	分子機能材料特論 有機合成化学特論	小川 智 嶋田 和明	教授 准教授
	高分子機能化学	高分子化合物の合成と反応の解明及びその機能に関する教育研究	高分子材料化学特論 高分子合成化学特論	大石 好行 芝崎 祐二	教授 准教授
無機・物理化学	界面制御工学	固体界面の化学状態及び固-液界面の反応及びその応用に関する教育研究	界面化学特論 無機化学特論	森 誠之 南 一郎	教授 准教授
	材料基礎化学	物理化学的手法を基礎とする機能性物質の設計・評価・劣化制御に関する教育研究	物理化学特論 機能材料化学特論	八代 仁 土岐 規仁	教授 准教授
	結晶工学	晶析及び反応工学的的手法による化学物質の分離精製及び微粒子材料製造に関する教育研究	反応工学特論 分離工学特論	清水 健司 横田 政晶	教授 准教授
生命工学	分子生物学	核酸・蛋白質など生命現象にかかわる生体分子に関する教育研究	生命化学特論 分子生物学特論	小栗栖太郎 荒木 功人	教授 准教授
	生理工学	生理学的手法を用いた生体機能の解明に関する教育研究	人間生理学特論 細胞生物学特論	一ノ瀬充行 松浦 哲也	教授 准教授
	神経情報学	神経系の情報処理と情報修飾物質に関する教育研究	神経情報学特論 ケミカルバイオロジー特論	※新貝 鉦蔵 佐藤 拓己	教授 准教授

フロンティア材料機能工学専攻

大分野	教育研究分野		授業科目	担当教員	
	名称	内容		氏名	職位
マテリアル創製	量子材料・極限計測	多層膜の作製・構造評価と、強相関伝導系の物性に関する教育研究	ナノ材料工学特論 電子物性学特論	吉澤 正人 中西 良樹 (マテリアル系)	教授 准教授
	材料制御	相変態論, 格子欠陥論, 磁性を基礎とした構造制御法とそれに基づいた材料評価に関する教育研究	材料制御学特論 材料強度学特論 磁性材料学特論	※越後谷 淳一 鎌田 康寛 菊池 弘昭 (マテリアル系)	教授 准教授 准教授
	半導体・有機材料	半導体, 有機デバイスに関する教育研究	半導体デバイス工学特論 有機デバイス材料学特論	藤代 博之 吉本 則之 (マテリアル系)	教授 准教授
	計算材料学	固体の電子構造の計算のための波動関数展開法や数値解析法などに関する教育研究	計算材料学特論	瓜生 誠司 (マテリアル系)	准教授
エネルギー科学	電極材料・界面制御	化学エネルギーシステム材料設計及び電子移動反応制御に関する教育研究	電気化学特論 エネルギー変換化学特論	※熊谷 直昭 宇井 幸一 (化学系)	教授 准教授
	機能電子材料	新しいエネルギー科学の基礎となる材料の創製に関する教育研究	超伝導材料学特論 エネルギー材料学特論	松川 倫明 山口 明 (マテリアル系)	教授 准教授
	ソフトエネルギーパス	ソフトエネルギーパスの視点に立ったマイクロエレクトロニクス・ナノケミストリーに関する教育研究	ソフトエネルギーパス特論 ナノエレクトロニクス特論	※馬場 守 西館 数芽 (電気系)	教授 准教授
			トライボロジー特論	☆岩渕 明	教授
環境リサイクル	機能再生・浄化機能材料	廃棄物からの機能性材料の回収及び微生物・酵素を用いた環境浄化に関する教育研究	環境安全科学特論 環境浄化工学特論	中澤 廣 伊藤 歩 (環境系)	教授 准教授
	エコナノ材料	環境関連機能材料の創製に関する教育研究	環境分析化学特論 エコ材料化学特論	成田 榮一 平原 英俊 (化学系)	教授 准教授
	材料製造プロセス	素材精製プロセスに係る諸現象, 金属製錬の物理化学に関する教育研究	材料物理化学特論 製錬プロセス工学特論	山口 勉功  (マテリアル系)	教授
			環境計測学特論 環境リサイクル学特論	※北爪 英一 中澤 廣	人文社会科学 研究科教授 教授

電気電子・情報システム工学専攻

大分野	教育研究分野		授業科目	担当教員	
	名称	内容		氏名	職位
電気エネルギー工学	電気エネルギー工学	電磁気学と量子現象論を基礎とした固体内核反応と電気エネルギーに関する教育研究	電磁気学特論 量子エネルギー工学特論	山田 弘 成田 晋也	教授 准教授
	プラズマ工学	放電プラズマやパルスパワーの発生と応用、プラズマを用いた環境保全技術に関する教育研究	プラズマエレクトロニクス特論 高電圧パルスパワー工学特論	藤原 民也 高木 浩一	教授 准教授
電子デバイス工学	電子デバイス工学	電子材料、磁性材料の特性と半導体デバイス、磁気デバイス、高周波デバイスに関する教育研究	磁気デバイス工学特論 電子デバイス工学特論	岡 英夫 向川 政治	教授 准教授
	光デバイス・計測デバイス工学	光エレクトロニクスを用いた光デバイスや生体計測、計測デバイスに関する教育研究	光デバイス工学特論 生体計測工学特論	谷口 宏 小林宏一郎	教授 准教授
電子システム工学	電子システム工学	電子回路を中心としたデジタル信号処理システムや組込システム及び通信工学を基礎とした情報伝送システムに関する教育研究	デジタル信号処理特論 組込システム工学特論 電子回路工学特論 電子通信システム工学特論	恒川 佳隆 長田 洋 大坊 真洋 本間 尚樹	教授 准教授 准教授 准教授
コンピュータ工学	コンピュータサイエンス	コンピュータのハードウェアとソフトウェアに関する基礎理論と最新技術の教育研究	コンピュータ科学特論Ⅰ コンピュータ科学特論Ⅱ コンピュータ科学特論Ⅲ コンピュータ科学特論Ⅳ	西谷 泰昭 平山 貴司 鈴木 正幸 ※渡邊 孝志	教授 講師 准教授 教授
	ネットワーク工学	コンピュータネットワークと情報セキュリティに関する基礎理論と最新技術の教育研究	コンピュータネットワーク特論 情報セキュリティ特論	未 定 ※吉田 等明	<small>情報メディアセンター准教授</small>
システム情報工学	知的情報処理工学	人工知能、画像認識、学習システムなどの知的情報処理に関する基礎理論と最新技術の教育研究	知的情報処理システム特論Ⅰ 知的情報処理システム特論Ⅱ	木村 彰男 西山 清	講師 教授
	パターン情報処理工学	音・音声・光・画像などのパターン情報処理に関する基礎理論と最新技術の教育研究	信号処理システム特論Ⅰ 信号処理システム特論Ⅱ 音声情報処理特論 光情報工学特論	安倍 正人 永田 仁史 三輪 譲二 吉森 久	教授 准教授 准教授 准教授

機械システム工学専攻

大分野	教育研究分野		授業科目	担当教員	
	名称	内容		氏名	職位
機械科学・航空	航空宇宙システム工学	航空宇宙推進の高効率化，環境適合性向上に関わる流体力学，伝熱工学や計算力学，また，数理的手法に基づくシステム制御理論とその航空宇宙システムへの応用に関する教育研究	航空宇宙推進工学特論 制御工学特論	船崎 健一 佐藤 淳	教授 准教授
	システム最適設計工学	機械システム工学全般，特に熱・力学に関わる数理工学・コンピュータ支援工学及びこれらを応用した最適設計手法に関する教育研究	固体力学特論 計算力学	※菅野 良弘 西村 文仁	教授 准教授
	環境動力工学	内燃機関などエネルギー応用システムの高性能化に関わる現象の解析と制御に関する教育研究	エンジン工学 燃焼工学特論 流体力学特論	藤田 尚毅 柳岡 英樹 小野寺英輝	教授 准教授 准教授
			破壊力学	※笠場 孝一	非常勤
機械知能・ロボティクス	知的生産システム工学	生産システムの計画・管理・運用などのマネジメント及び高能率・高精度加工システムの構成法・加工方式に関する教育研究	システム工学 精密加工 精密工学特論	井山 俊郎 水野 雅裕 吉原 信人	教授 教授 准教授
	システム力学及びセンシング工学	機械システムのダイナミクス及び画像・信号処理と計測に関する教育研究	計測手法特論 ロボティクス工学特論	萩原 義裕 湯川 俊浩	准教授 准教授
	生体医工学	人体，機械システム，及びその利用環境の計測と制御に関する教育研究	生体工学特論 福祉機械工学	山口 昌樹 三好 扶	教授 准教授
			プロジェクトマネジメント	※小西 義昭 ※谷本 勲	非常勤 非常勤

社会環境工学専攻

大分野	教育研究分野		授業科目	担当教員	
	名称	内容		氏名	職位
環境福祉工学	環境衛生工学	水処理技術及び上下水道の計画法・設計法, 微生物を利用した高度水処理手法の開発とその実用化等に関する教育研究	水環境工学特論 社会環境工学特論	海田 輝之 海田 輝之	教授 教授
	福祉住居・福祉支援工学	高齢者, 障がい者及び介護者の尊厳を重視し, 快適生活を送り, 社会参加を持続するための支援方法に関する教育研究	福祉住居・福祉支援工学特論	大川井宏明	教授
	都市計画学	都市計画および交通計画の立案の支援, ユニバーサルデザインや防災等を考慮した都市空間設計手法に関する教育研究	都市計画学特論 交通計画学特論	南 正昭 南 正昭	教授 教授
社会基盤工学	構造工学	構造解析の手法及び安全で機能的な構造物の設計法, 構造物の動的応答解析及び合成構造物の解析などに関する教育研究	構造解析学特論 構造工学特論	岩崎 正二 出戸 秀明	教授 准教授
	基盤・耐震工学	地震危険度の把握と耐震設計を目的に, 地盤・岩盤の探査及び強度安全性の把握, 地盤振動特性などに関する教育研究	地震工学特論	山本 英和	准教授
	建設材料工学	コンクリートやアスファルト等の建設材料の特性と利用法, 耐久的建設材料及び建設廃材の有効利用などに関する教育研究	コンクリート工学特論 コンクリート構造工学特論	羽原 俊祐 未 定	准教授
	地盤工学	地質及び土質の特性と地盤防災の手法, 活火山の地質特性, 活断層の活動度及び斜面安定などに関する教育研究	地盤地質学特論 地盤防災特論	越谷 信 大河原正文	准教授 准教授
	水域防災工学	河川, 海岸における水理現象と洪水や津波に対する防災対策, 洪水予測システムの開発及び海洋構造物に対する津波外力の評価などに関する教育研究	水系システム工学 水工解析学特論	堺 茂樹 小笠原敏記	教授 准教授

デザイン・メディア工学専攻

大分野	教育研究分野		授業科目	担当教員	
	名称	内容		氏名	職位
デザイン工学	環境デザイン	人や環境に優しい生態系を含めた生活空間を構築するための、環境情報のデータベース化と環境アセスメント及び地域計画と環境調和型まちづくりに関する教育研究	環境ネットワークシステム 地域デザイン	齊藤 貢 大塚 尚寛	准教授 教授
	プロダクトデザイン	人や環境に優しい“もの”を創造するためのデザインプロセス、思考支援法、造形表現法及びデザイン評価法に関する教育研究	プロダクトデザイン	※田中 隆充	教育学研究科 准教授
	コンテンツデザイン	メディアアート、アニメーション、Webコンテンツなどの情報や映像コンテンツを制作するための情報デザインと映像メディア表現に関する教育研究	情報デザイン 映像メディア表現	未 定 ※本村 健太	教育学研究科 教授
メディア工学	ネットワーク工学	環境センシングやサイバーコミュニケーション環境を構築するための基盤技術であるネットワークシステムに関する教育研究	ネットワークシステム	厚井 裕司	教授
	インタラクション工学	ロボットやVRなどのインタラクティブシステムを構築するためのリアルタイムで動作する3D映像認識技術と映像表示技術に関する教育研究	コンピュータビジョン インタラクティブグラフィックス	明石 卓也 藤本 忠博	准教授 准教授
	コンテンツ工学	CADやCGなどの3D映像コンテンツを制作するための形状モデル獲得・生成技術とシミュレーション型アニメーション技術に関する教育研究	形状モデリング コンピュータアニメーション	今野 晃市 千葉 則茂	教授 教授

金型・鋳造工学専攻

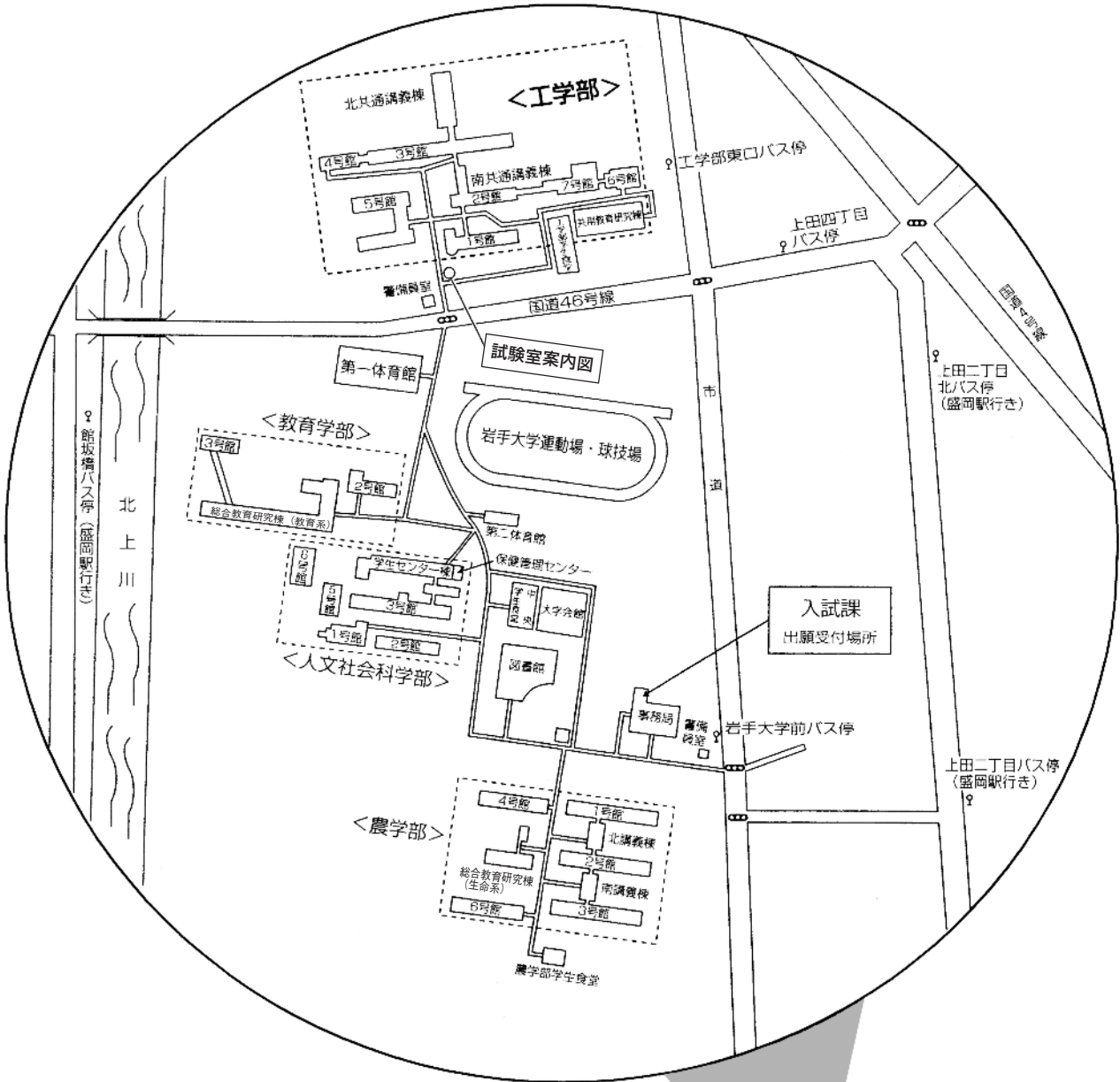
大分野	教育研究分野		授業科目	担当教員	
	名称	内容		氏名	職位
金型工学	金型技術	金型製作に関する，設計技術，金型材料，加工技術，プレス及びプラスチックモールド成型技術に関する教育研究	金型材料学特論 金型表面技術特論 成形材料学特論 金型加工技術特論 成形技術特論 設計システム特論	吉野 泰弘 岩渕 明 岩渕 明 清水 友治 ※亀田英一郎 廣瀬 宏一	准教授 教授 教授 准教授 客員教授 教授
鋳造工学	鋳造技術	鋳鉄を主とした機能材料の鋳造プロセスと材料評価法，CAD，鋳造法案，鋳造技術に関する教育研究	鋳造材料学特論 鋳造複合化技術特論 鋳型造型技術特論 溶解プロセス特論 鋳造生産技術特論	晴山 巧 水本 将之 ※竹本 義明 平塚 貞人 ※竹本 義明	准教授 准教授 客員教授 教授 客員教授
			計測・分析技術特論 品質工学特論  企業戦略論 生産計画特論 技術経営特論	中村 満 ※小野 元久 ※宇井 友成 ※福嶋 路 ※河内 真作 ※福嶋 路 ※野長瀬裕二 ※宮井 久男 ※対馬 正秋	教授 非常勤 非常勤 非常勤 非常勤 非常勤 非常勤 非常勤 非常勤 地域連携推進センター教授

博士前期課程共通科目

授業科目	担当教員	
	氏名	職位
研究マネジメント論	未定	
ベンチャー企業論	※小野寺純治	地域連携推進センター教授
知的財産権特論	※佐藤 祐介	地域連携推進センター教授
工業倫理特論	※箱石 匡行	教育学部特任教授
工業デザイン特論	※田中 隆充	教育学研究科准教授
実践品質管理	※吉見登司一	非常勤
科学英語特論Ⅰ	※Mark de Boer	国際交流センタープロジェクト教員
科学英語特論Ⅱ	※Paul Langman	非常勤



# 試験場への案内



盛岡駅前（バスターミナル11番のりば）から岩手県交通バスの駅上田線「松園バスターミナル行き」に乗車し「上田四丁目」で下車、又は駅桜台団地線「桜台団地行き」に乗車し「工学部東口」で下車してください。

- 注1) 盛岡駅から約2km、徒歩約25分
- 注2) タクシー利用の場合  
盛岡駅「タクシーのりば」から約10分で、料金は1,000円程度です。
- 注3) 盛岡駅行き（帰り）のバス停については、上記の案内図を参照してください。

